

参 考 資 料

- 1 入学者選抜制度の現状と課題について (1)
 - (1) 現行入学者選抜制度の概要
 - (2) 現行入学者選抜制度の概要
 - (3) 入試事務日程一覧 (平成28年度入試)

- 2 全国の入学者選抜制度について (7)
 - (1) 全国の入学者選抜制度の動向
 - (2) 全国の入学者選抜制度の概要
 - (3) 全国の入試日程一覧
 - (4) 入学者選抜制度別の入試日程比較 (抜粋)

- 3 本県入学者選抜制度に係る調査について (32)
 - (1) 宮城県公立高等学校入学者選抜に係る質問紙調査の結果 (速報)
 - (2) みやぎ学力状況調査 (平成27年度及び平成28年度抜粋)

1 入学者選抜制度の現状と課題について

(1) 現行入学者選抜制度の概要

① 本県入学者選抜制度の変遷

- S 4 1 文部省通達：全教科型学力検査方針の転換
- S 4 2 学力検査9教科から5教科に
調査書と学力検査の結果を相関図表を用い総合的に判定
- S 5 3 農業・水産学科の一部に、推薦入試導入（←自営者養成目的）
4教科の評定2倍，○A導入
- S 5 9 文部省通知：受験機会の複数化，多面的な調査書の活用
- S 6 0 農業・水産の全学科に推薦入試拡大
- S 6 1 体育学科に推薦入試，実技導入
- S 6 2 商業・家庭・英語科で推薦入試導入
- S 6 3 工業・理数科で推薦入試導入
- H 元 看護科で推薦入試導入
- H 2 全日制でも第二次募集実施
- H 5 文部省通知：選抜方法の多様化，多段階の選抜，調査書と学力検査の
比重の置き方の工夫，調査書の学習の記録以外の充実・活用
- H 6 普通科で推薦入試導入（*全学科で推薦入試導入）
傾斜配点導入
- H 8 定時制に社会人推薦導入
- H 1 0 自己申告による傾斜配点導入
- H 1 2 面接の工夫・改善（自己表現の導入），普通科に面接を導入
- H 1 5 絶対評価による評定記載
- H 1 6 推薦入試で口頭試問，英語面接導入
学力検査の数学・英語に学校選択問題導入
- H 1 7 連携型中高一貫教育に関する入試開始
- H 1 9 中学校から推薦できる人数制限の撤廃
- H 2 0 併設型中高一貫校で高校入学導入
- H 2 2 数学・英語の共通問題と選択問題の合冊，解答用紙A3判
全県一学区，全県立高校男女共学化
- H 2 3 東日本大震災対応，調査書の簡素化，写真票の導入
- H 2 4 推薦入試最後の年度，震災4校仮校舎受験
- H 2 5 推薦入試を廃止，前期選抜と後期選抜を実施
- H 2 7 前期選抜の募集割合の上限を拡大
- H 2 8 後期選抜の第2志望を各校の希望により設定

② 現行入試制度の導入までの経過

● 現行制度導入前の入試制度について（平成6年度～平成24年度）		
推薦入試	一般入試	第二次募集
<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月下旬に実施 ○ 学力検査なし ○ 作文、面接、実技から1つ以上を必要に応じて実施 ○ 普通科 30%以内 普通科のコース、専門学科及び総合学科 40%以内 体育・美術に関する学科 60%以内 ○ 中学校長の推薦書 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月上旬に実施 ○ 学力検査（5教科） ○ 面接、実技は必要に応じて実施 ○ すべての高校で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月下旬に実施 ○ 学力検査（実施の有無及び教科数は学校で定める） ○ 作文、面接、実技から必要に応じて実施 ○ 定員割れのある高校のみ実施

主な課題

◆ 推薦入試の課題

- ▶ 中学校長の推薦の有無により受験機会に差が生じる
- ▶ 推薦の基準や各高校が「求める生徒像」が抽象的で、中学校での校内選考が困難
- ▶ 学力検査が不要な早期合格の手段となり学習意欲の低下などの影響あり
- ▶ 特に普通科では、5段階評定にのみ依存した選抜となっているのではないか

◆ 一般入試の課題

- ▶ 学力検査問題の質と量、英語・数学の学校選択問題の継続の可否等を検討すべき
- ▶ 中学生や受験生・保護者に、各高校の選抜方針をどのように具体的に示すか
- ▶ 高校の特色化を図るために、学校裁量幅をどのように拡大するか

県教育委員会が高等学校入学者選抜審議会に諮問（平成20年7月）
「今後の県立高等学校入学者選抜の在り方について」

◆ 改善の主な観点

- ▶ 受験生の多様な能力・適性を多面的に評価
- ▶ 学力の向上
- ▶ 特色ある学校づくりの一層の推進

◆ 基本的な考え方

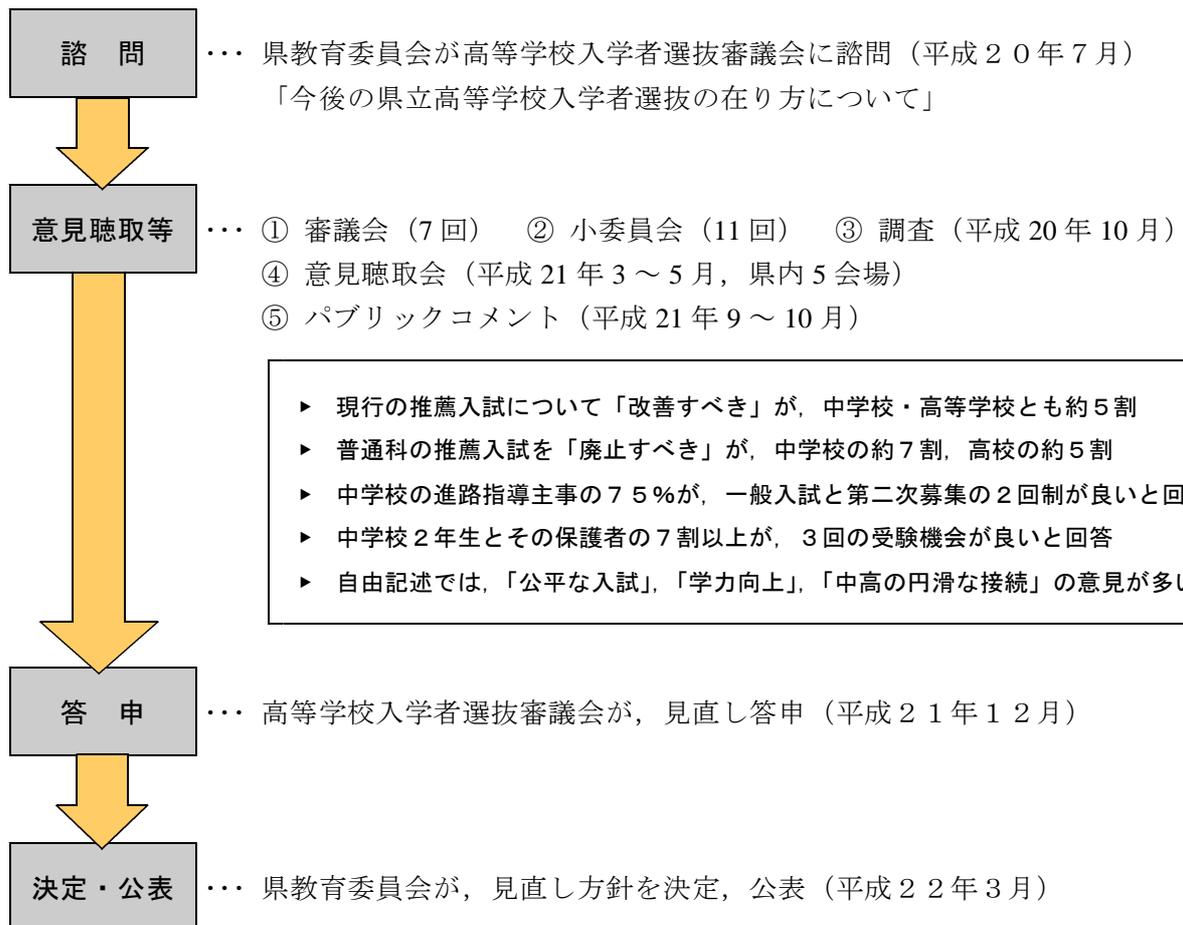
- ▶ 生徒にとって公正かつ適正なものである
- ▶ 受験生が自らの将来を展望する契機となる
- ▶ 中学校と高等学校を円滑につなぐものである
- ▶ 学力向上につながるものである

答申（平成21年12月）

《改善の方向性及び具体的な改善案》 前期選抜 + 後期選抜 + 第二次募集

- ◆ 最大3回の受験機会を確保
- ◆ 受験生の多様な能力を多面的に評価するという理念を継承
- ◆ 受験生の意欲・目的意識を大切にした選抜の仕組みの継続
- ◆ 各高校の特色ある学校づくりの一層の推進
- ◆ 学力の向上

● 審議等の経過について



(2) 現行入学者選抜制度の概要

① 平成29年度入学者選抜

◆ 前期選抜 (あらかじめ各高校が示す出願要件を満たす生徒が受験できる)	
出願期間	1月10日(火)から1月13日(金)まで
実施時期	2月 1日(水)
合格発表	2月 9日(木)
募集割合	各高校が以下の範囲内で割合を定める (H26 入試) <ul style="list-style-type: none"> ▶ 普通科 10~30% (10~20%) ▶ 普通科のコース, 専門学科及び総合学科 10~40% (10~30%) ▶ 体育・美術に関する学科 10~70% (10~50%)
選抜資料	調査書… 評定を点数化(満点225点) 学校独自検査… 作文, 面接, 実技のうち1つ以上を実施 学力検査… 3教科(国, 数, 英)
出願書類	志願理由書(志願者が作成する)

◆ 後期選抜	
出願期間	2月21日(火)から2月24日(金)まで
実施時期	3月 8日(水) (実技等のある学校は, 3月9日(木)も実施)
合格発表	3月16日(水)
募集人数	募集定員から前期選抜等の合格者を除いた人数
選抜資料	調査書… 評定を点数化(満点195点) 学力検査… 5教科(国, 社, 数, 英, 理) 面接… 各高校において, 必要に応じて実施 実技… 体育, 美術に関する学科において, 必要に応じて実施

◆ 第二次募集 (後期選抜終了時点で, 合格者数等が募集定員に満たない学校で実施)	
出願期間	3月17日(金)から3月21日(火)まで
実施時期	3月22日(水) (面接, 実技等のある学校は, 3月23日(木)も実施)
合格発表	3月22日(水)又は23日(木)
選抜資料	調査書… 記載事項を総合的に評価 学力検査… 各学校において, 必要に応じて実施 面接… 各学校において, 必要に応じて実施 実技… 体育, 美術に関する学科において, 必要に応じて実施

② 平成24年度～平成29年度高等学校入学者選抜日程の推移

入試年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
入試制度	推薦入試 一般入試 第二次募集	前期選抜 後期選抜 第二次募集				
推薦入試・前期選抜 出願者受付	1.16～23	1.11～16	1.14～17	1.13～16	1.12～15	1.10～13
推薦入試出願者の面接等	1.31(火)					
(私立高校入試A日程)	2. 1(水)	1.28(月)	1.29(水)	1.28(水)	1.27(水)	1.25(水)
(私立高校入試B日程)	2. 3(金)	1.30(水)	1.31(金)	1.30(金)	1.29(金)	1.27(金)
前期選抜実施日		2. 1(金)	2. 4(火)	2. 3(火)	2. 3(水)	2. 1(水)
推薦入試結果通知 前期選抜合格発表日	2. 7(火)	2.12(火)	2.10(水)	2.10(火)	2.12(金)	2. 9(木)
一般入試・後期選抜 出願受付	2.16～23	2.20～25	2.20～25	2.19～24	2.23～26	2.21～24
一般入試・後期選抜 学力検査日	3. 8(木)	3. 7(木)	3. 6(木)	3. 5(木)	3. 9(水)	3. 8(水)
一般入試・後期選抜 合格者発表日	3.14(水)	3.13(水)	3.12(水)	3.12(木)	3.16(水)	3.16(木)
第二次募集出願受付	3.15～19	3.14～18	3.13～17	3.13～17	3.17～18	3.17～21
第二次募集実施日 合格発表日	3.21～22	3.21～22	3.19～20	3.19～20	3.23～24	3.22～23

- その他 : 第一回志願者予備調査・・・11月1日(火)～11月4日(金)
 第二回志願者予備調査・・・1月4日(水)～1月6日(金)

(3) 入試事務日程一覧 (平成28年度入試)

時期	日程	入試日程		高等学校		中学校		
				入試事務	学校行事等	入試事務	学校行事等	
10月	5(月)～9(金)	入試事務説明会	入学者選抜要項の公表	入試事務説明会参加	成績処理、成績会議	入試事務説明会参加		
	15(木)	教務主任研究協議会	入試事務等連絡会及び報告様式送付	入学者選抜委員会(委員、教務等)	進学推薦校内選考会議		駅伝大会	
							進路希望調査	
11月	2(月)～5(木)	第1回志願者予備調査	第1回志願者予備調査報告	集計表確認	避難訓練	報告書作成		
	9(月)		第1回志願者予備調査結果の公表			二者面談	後期中間考査	
				入学者選抜委員会(委員、教務等)			調査書等作成委員会 前期選抜用許定通知 調査書等作成	成績処理 進路説明会
12月					定期考査	三者面談		
					定期考査	調査書等作成委員会 願書等出願書類下書き指導		
					修学旅行	前期選抜願書等出願書類校内締切		
1月				入学者選抜委員会(委員、教務等)	成績会議	学年会(出願書類点検) 調査書等作成委員会(調査書等点検) 面接指導 出願準備作業 高専・私立推薦出願	冬季休業	
					冬季休業、課外講習			
1月	6(水)～8(金)	第2回志願者予備調査	第2回志願者予備調査報告		冬季休業、課外講習	報告書作成		
	13(水)		私立高校推薦入試					
	15(金)		高専推薦入試	集計表確認				
	12(火)～15(金)	前期選抜出願受付	第2回志願者予備調査結果の公表	出願書類受領 受領書発行		前期選抜出願		
	15(金)	前期選抜出願締切(午前11時まで)	出願者数報告(締切後直ちに) 前期選抜出願状況の公表	前期選抜等出願者数報告書作成				
	16(土)・17(日)				大学入試センター試験			
					調査書等データ入力作業(教務部) 入学者選抜委員会(会務等)	3年生進学三者面談 3年生国公立大学進学指導		
	21(木)	受験票及び受験票送付一覧の送付(午前11時)		受験票作成 受験票送付一覧作成			受験票受領	
	27(水)		私立高校A日程入試				受験計画書、欠席届等作成 入試当日朝の入場チェック	
	29(金)		私立高校B日程入試				高専一般出願 受験計画書、欠席届等作成 入試当日朝の入場チェック	
	2月	3(水)	前期選抜	実施状況報告(欠席者数報告) 前期選抜実施状況の公表	実施状況報告書作成		前期選抜事前指導 受験票配付	入試当日朝の入場チェック
		12(金)	前期選抜合格発表(午後4時)	合格者数等報告 結果通知書 合格通知書等の郵送 前期選抜合格状況の公表 合格者受験番号のHP掲載	採点業務、得点集計等 選抜資料作成業務 前期選抜合否判定会議 合格発表資料作成	3年生学年末成績処理 学年成績会議 3年生国公立大学進学指導	受験報告書の回収 後期選抜願書配付 出願書類下書き指導	
19(金)			前期選抜検査結果等報告					
23(火)～26(金)		後期選抜出願受付		出願書類受領 受領書発行		後期選抜出願		
26(金)		出願締切(午前11時まで)	出願者数報告(締切後直ちに) 後期選抜出願状況の公表	後期選抜出願者数報告書作成				
25(木)			県外出願承認締切(11:00)					
3月		1(火)				卒業式		
	8(火)	県外出願承認数報告	県外出願承認数報告	県外出願承認数報告書作成 後期選抜入試準備	学年末成績処理 学年成績会議 欠席者指導	後期選抜事前指導 受験票配付		
	9(水)	後期選抜	実施状況報告(欠席者数報告) 後期選抜実施状況の公表	実施状況報告書作成		入試当日朝の入場チェック		
	12(土)							
	16(水)	後期選抜合格発表(午後3時)	合格者数等報告 結果通知書 合格通知書 後期選抜合格状況の公表 合格者受験番号のHP掲載 第二次募集実施校の公表	採点業務、得点集計等 選抜資料作成業務 入学選抜委員会(教務等) 後期選抜合否判定会議(全職員) 合格発表資料作成	進級認定会議(全職員)	受験報告書の回収		
	17(木)	第二次募集出願受付		出願書類受領 受領書発行		後期選抜合格状況の確認 入試結果のまとめ作成 結果通知書、合格通知書受領		
	18(金)	出願締切(午後3時まで)		第二次募集出願者数報告書作成				
	23(水)		後期選抜検査結果等報告					
	23(水)～24(木)	第二次募集	合格者数等報告 結果通知書 合格通知書	後期選抜検査結果等報告書作成			調査書等作成委員会 進路先確認 三者面談 第二次募集受験意志確認 第二次募集願書の回収と点検 調査書作成、点検 出願書類準備 願書、調査書、出願者一覧表	
	24(木)						第二次募集出願	
	25(木)							
	28(月)		生徒指導要録抄本等の受領				生徒指導要録抄本等送付準備	修了式 学年末休業

2 全国の入学者選抜制度について

(1) 全国の動向

① 全国の入試制度の動向（都道府県数）

	H24年度	H25年度		H28年度	割合(%)
推薦・一般型	28	26	→	24	51.1
前期・後期型	17	16		17	36.2
一本型	2	5		6	12.8

※ 推薦・一般型：一般入試（学力検査）とは別に、中学校長の推薦が必要な推薦入試を実施

前期・後期型：一般入試（学力検査）とは別に、中学校長の推薦を必要としない選抜（特色化選抜、自己推薦等）を実施

一本化型：一般入試（学力検査）のみを実施している。

② 入試制度見直しの動向

都道府県	制度変更年度	内 容
青森県	H18年度	推薦・一般型 → 前期・後期型
	H27年度	前期・後期型 → 一本型
秋田県	H17年度	推薦・一般型 → 前期・後期型
栃木県	H26年度	推薦・一般型 → 前期・後期型
京都府	H26年度	推薦・一般型 → 前期・後期型
茨城県	H25年度	推薦・一般型 → 一本型
神奈川県	H25年度	前期・後期型 → 一本型
岐阜県	H25年度	前期・後期型 → 一本型
埼玉県	H24年度	前期・後期型 → 一本型
静岡県	H20年度	前期・後期型 → 一本型

③ 入試期間（平成28年度入試）

入試制度		前期(推薦) 出願開始日 ～ 後期(一般) 合格発表日	前期(推薦) 出願開始日 ～ 合格発表日	前期(推薦) 合格発表日 ～ 後期(一般) 出願開始日	後期(一般) 出願開始日 ～ 合格発表日
	宮城県(前期・後期型)		65日間	32日間	10日間
推薦・一般型	平均	47.2日間	20.5日間	4.9日間	21.8日間
	最長	島根 67日間	北海道 31日間	福井 24日間	島根 47日間
	最短	和歌山 26日間	愛知 8日間	福岡 0日間	富山 22日間
前期・後期型	平均	50.3日間	18.2日間	4.3日間	28.7日間
	最長	宮城 65日間	高知 36日間	宮城 10日間	熊本 33日間
	最短	奈良 32日間	奈良 12日間	京都 0日間	高知 10日間
一本型	平均	28.2日間	—	—	28.2日間
	最長	神奈川 33日間	—	—	神奈川 33日間
	最短	埼玉 21日間	—	—	埼玉 21日間

(2) 全国の入学者選抜制度

① 東北他県の入学者選抜制度について

県名	概 要
青森	<p>H 1 8 入試から中学校長推薦による推薦入試を廃止し，前・後期型入試を開始</p> <p>※ 前期：学力検査，後期：特色化選抜の見直し検討</p> <p>課題→前期選抜の日程，後期選抜の煩瑣さ・不透明さ</p> <p>H 2 7 入試から前・後期型入試を廃止し，一本型入試を開始</p> <p>現行制度：一本型</p> <p>※学力検査は1回で実施し，選抜方法を一般入試と特色化選抜に分けて実施。</p> <p>選抜日程：3月上旬に1日の日程で実施。</p>
岩手	<p>H 1 6 年度に中学校長推薦による推薦入試を廃止し多元化総合選抜に移行</p> <p>H 1 9 入試から中学校長推薦による推薦入試を復活</p> <p>現行制度：推薦・一般型（推薦入試，一般入試，再募集）</p> <p>推薦入試：志願理由書及び面接，（小論文又は作文，適性検査）</p> <p>一般入試：学力検査（多元化総合選抜）</p> <p>※多元化総合選抜とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる尺度による合否判定により一人最大3回の選抜 <p>（A選考－学力検査と調査書等同等，B選考－調査書等重視，C選考－学力検査重視）</p> <p>※中学校長推薦による推薦入試の復活について</p> <p>（理由）・多元化総合選抜B選考を推薦のかわりとして導入したが，スポーツ，芸術等の特色については充分評価できないという意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受検機会の複数化を求める中学校からの意見 ・市立・私立高の推薦に受検生が流れることへの県立高からの意見 <p>（復活した推薦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・芸術分野，職業選択や社会貢献等で特色ある生徒に特化し10%以内（体育系学科は50%以内） <p>選抜日程：推薦入試・・・2月上旬，一般入試・・・3月上旬</p>

県名	概 要
秋田	<p>H 1 7 入試から中学校長推薦による推薦入試を廃止し，前・後期型を開始</p> <p>※ 前期選抜：自己推薦，一般選抜：学力検査（面接も必須）， 後期選抜：特色化選抜＋二次募集</p> <p>H 2 5 入試から後期選抜を廃止し，前期選抜に学力検査を導入</p> <p>現行制度：前期・後期型（前期選抜，一般選抜，2次募集）</p> <p>前期選抜：出願条件，学力検査又は口頭試問，及び面接 他に，希望する学校においては作文，実技</p> <p>一般選抜：学力検査，面接</p> <p>※前期は5～30%，一般は70～95%</p> <p>選抜日程：前期選抜・・・1月下旬，一般選抜・・・3月上旬</p>
山形	<p>中学校長推薦による推薦入試制度維持</p> <p>現行制度：推薦・一般型（推薦入試，一般入試，第2次募集）</p> <p>推薦入学者選抜：面接，作文，実技</p> <p>※推薦は職業に関する学科，理数科，総合学科で30%以内， 音楽科で50%程度，体育科で70%程度</p> <p>一般入学者選抜：学力検査，面接，体育科・音楽科で適性検査</p> <p>選抜日程：推薦入試・・・2月上旬，一般入試・・・3月上旬</p>
福島	<p>H 1 5 入試から中学校長推薦による推薦入試を廃止</p> <p>現行制度：前期・後期型（Ⅰ期選抜，Ⅱ期選抜，Ⅲ期選抜（二次募集））</p> <p>Ⅰ期選抜：特色化選抜（志願理由書，調査書，面接，（学校によつて小論文又は作文，実技））</p> <p>Ⅱ期選抜：学力検査，学校によって面接</p> <p>※Ⅰ期は10～40%ですべての学校・学科で実施（40%を超えて設定する場合は県教委と協議）</p> <p>選抜日程：Ⅰ期選抜・・・1月中旬，Ⅱ期選抜・・・3月上旬</p>

② 他県の入学者選抜制度別の概要（抜粋）

【一本型】

ページ

- ・ 青森県 (1 1)
- ・ 岐阜県 (1 4)
- ・ 埼玉県 (1 6)
- ・ 茨城県 (1 9)

【前期・後期型】

- ・ 奈良県 (2 1)

【推薦・一般型】

- ・ 和歌山県 (2 6)

【青森県】

1 選抜方法

入学者選抜	一般選抜	学力検査と調査書，面接を選抜資料の基本とし，各高校が必要に応じて作文，実技検査等を選抜資料に加える選抜
	特色化選抜	一般選抜と同じ選抜資料をもとに，各高校及び学科の特色に応じて選抜資料の配点等を一般選抜とは別に定める選抜 募集割合は，全募集人員の10～50%の範囲で各高校が定める。
再募集		入学者選抜の合格者数が募集人員（定員）に満たない高校・学科等において，その欠員数を補充するために行う選抜

※ 一般選抜と特色化選抜の募集割合や，どちらを先に選抜するかは各高校が定め，あらかじめ公表する。

※ 一方の選抜で定員外になっても，自動的にもう一方の選抜の対象となる。

※ 選抜の結果は，一般選抜・特色化選抜の区別なく合格発表する。

2 選抜資料

	入学者選抜		再募集
	一般選抜	特色化選抜	
調査書	教科の評定（3年間） 配点 135点	教科の評定（3年間） （傾斜配点あり） 特別活動 部活動 その他の活動 を点数化	教科の評定（3年間） （傾斜配点あり） 特別活動 部活動 その他の活動 を点数化
学力検査	5教科（各100点）， 国・英：各50分，数・社・理：各45分 ----- 傾斜配点あり		5教科（各20点） まとめて50分 傾斜配点あり
面接	個人面接又は集団面接 得点化又は5（3）段階評価 面接内容及び評価の観点を学校毎に公表		同左
作文，実技検査等			高校・学科等により 追加実施

※ 一般選抜の選抜方法

学力検査の得点（500点満点）の順位と調査書の評定の総計（135点満点）の順位を基に下記のように群に分け，Ⅰ群，Ⅱ群，Ⅲ群の順に選抜する。

- ① Ⅰ群・・・学力検査と調査書の順位がともに一般選抜人員の100%以内にある。
- ② Ⅱ群・・・学力検査又は調査書のいずれかの順位が一般選抜人員の100%以内にある。
- ③ Ⅲ群・・・学力検査と調査書の順位がともに一般選抜人員の100%以内でない。

選抜にあたっては，上記を基本とし，調査書の記載内容と面接を考慮しながら，求める生徒像に照らして総合的に判断し選抜する。

※ 特色化選抜の選抜方法

選抜にあたっては，学校毎，事前に示された選抜資料の配点を基に，調査書の記載内容と面接を考慮しながら，求める生徒像に照らして総合的に判断し選抜する。

3 具体例

(1) 青森高等学校 普通科

選抜順序		特色化選抜 → 一般選抜	
入学者選抜	一般選抜	募集人員の割合	70%
		学力検査	500点
		調査書	135点
		面接	参考
		その他の選抜資料等	なし
	特色化選抜	募集人員の割合	30%
		学力検査	650点 (国・数・英, 各1.5倍)
		調査書	180点 ・教科の評定 135点 ・特別活動等の記録 45点 (生徒会活動, 部活動等の顕著な活動を点数化)
		面接	20点 (集団面接 (5人1組))
		その他の選抜資料等	なし
再募集	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施	
	学力検査	300点 (100点満点の3倍)	
	調査書	180点 ・教科の評定 135点 ・特別活動等の記録 45点 (生徒会活動, 部活動等の顕著な活動を点数化)	
	面接	20点 (個人面接)	
	その他の選抜資料等	なし	

(2) 三沢高等学校 普通科

選抜順序		一般選抜 → 特色化選抜	
入学者選抜	一般選抜	募集人員の割合	90%
		学力検査	500点
		調査書	135点
		面接	参考
		その他の選抜資料等	なし
	特色化選抜	募集人員の割合	10%
		学力検査	400点 (理・社の得点を各1/2倍)
		調査書	185点 ・教科の評定 135点 ・特別活動 最大20点 ・部活動 最大30点 (生徒会活動, 部活動等の顕著な活動を点数化)
		面接	15点 (個人面接)
		その他の選抜資料等	なし
再募集	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施	
	学力検査	100点	
	調査書	180点 ・教科の評定 135点 ・特別活動 最大20点 ・部活動 最大30点	
	面接	15点 (個人面接)	
	その他の選抜資料等	なし	

(3) 弘前実業高等学校 農業経営科

選抜順序		一般選抜 → 特色化選抜	
入学者選抜	一般選抜	募集人員の割合	60%
		学力検査	500点
		調査書	135点
		面接	参考
		その他の選抜資料等	なし
	特色化選抜	募集人員の割合	40%
		学力検査	500点
		調査書	350点 ・教科の評定 135点 ・特別活動 15点 (生徒会活動、学級活動等の活動内容をA(15点)、B(10点)、C(5点)の3段階で点数化) ・部活動 最大200点 (全国大会入賞(200点)、全国大会出場(160点)、東北大会入賞(160点)、東北大会出場(140点)、県大会入賞(80点)、県大会出場(30点)等)
		面接	A B C D Eの5段階(集団面接(5人1組))
		その他の選抜資料等	第2志望がスポーツ科学科の受験生には、スポーツ科学科と同じ実技検査を実施(A B C D Eの5段階)
再募集	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施	
	学力検査	100点	
	調査書	250点 ・教科の評定 135点 ・特別活動 15点 ・部活動 最大100点 (特別活動の点数化は特色化選抜に準じ、部活動の点数化は特色化選抜の基準の50%)	
	面接	A B C D Eの5段階(個人面接)	
	その他の選抜資料等	なし	

4 その他

(1) 進路志望状況調査の実施(2回)について

- ・11月18日 第1次進路志望状況調査 → 12月に結果を公表
- ・12月16日 第2次進路志望状況調査 → 1月に結果を公表

(2) 出願について

- ① 第2志望・・・複数の学科・コース(部)が設置されている学校に出願する場合は、当該校に設置されている学科・コース(部)の間で第2志望を認めている。
- ② 出願先変更・・・保護者の転勤、転居等により、入学願書の受付後、出願した県立高等学校の変更を希望する場合、出願先変更の承認を願い出、要件を満たしていれば、出願先の変更が認められる。
- ③ 平成28年度入試(全日制課程57校122学科・コース)

	特色選抜	二次募集
実施校数	57校122学科・コース	24校32学科・コース
募集人数	8,786人	436人
出願者数	9,622人	89人
出願倍率	1.10倍	0.20倍
合格者数	8,350人	66人
不合格者数	1,272人	23人

※ 募集定員 8,778人、合格者計 8,416人、充足率 95.9%

【岐阜県】

1 選抜方法

第一次選抜	標準検査（学力検査）と調査書を選抜資料の基本とし、各高校が必要に応じて面接、実技検査等を選抜資料に加える選抜
第二次選抜	入学者選抜の合格者数が募集人員（定員）に満たない高校・学科等において、その欠員数を補充するために行う選抜

※ 第一次選抜において、部活動の実績や学科等の専門領域における実技能力を特に重視して評価する学科・コースでは、希望者に対して標準検査（学力検査）に加えて、独自検査を実施する。

※ 独自検査・・・面接、小論文、実技検査、自己表現の中から高等学校が指定する。

2 選抜資料

	第一次選抜	第二次選抜
調査書	教科の評定（3年間） 配点 180点 1・2学年 90点満点 3学年 90点満点	教科の評定（3年間） 配点 180点 1・2学年 90点満点 3学年 90点満点
学力検査	5教科 配点 各100点、時間 各50分 傾斜配点あり	5教科 配点 各100点、時間 各30分 傾斜配点なし
独自検査	面接、小論文、実技検査、自己表現のうちから、実施する検査を各学校が決定し事前に公表	なし

※ 第一次選抜の選抜方法

学力検査の得点（500点満点）と調査書の評定の総計（180点満点）を基に、総合的に審査し、選抜にあたる。

標準検査のみを実施する学科・コースについては、調査書の評定と第1次選抜学力検査の結果の比率（7：3～3：7）を、各学校が定めて、事前に公表する。

標準検査及び独自検査を実施する学科・コースについては、入学定員の30%を上限として、独自検査を含む選抜における出願者の第2志望及び第3志望を含めて、選抜にあたる。この選抜による合格となる者を除いた全ての受験生を対象として、事前に公表している調査書の評定と第1次選抜学力検査の結果の比率（7：3～3：7）に基づき、総合的に審査し、選抜にあたる。

※ 独自検査の実施

独自検査を実施する学科・コース等に出願する場合は、出願者は、独自検査を受検するかを選定する。

3 具体例

(1) 岐阜高等学校 普通科

第一次選抜	募集人員の割合	100%
	志望できる学科数	1学科
	学力検査	500点
	調査書	180点
	その他の選抜資料等	なし
	比率	調査書：学力検査 = 3：7
	独自検査	なし
第二次選抜	募集人員の割合	なし
	志望できる学科数	なし
	検査の種類	なし
	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	志望できる学科数	1学科
	学力検査	300点（3教科（国・数・英）各100点満点）
	調査書	180点
面接	あり	
その他の選抜資料等	なし	

(2) 飛騨高山高等学校 園芸科学科

第一次選抜	募集人員の割合	70%
	志望できる学科数	3学科
	学力検査	500点
	調査書	180点
	その他の選抜資料等	面接あり
	比率	調査書：学力検査 = 5：5
	独自検査	あり
第二次選抜	募集人員の割合	30%
	志望できる学科数	2学科
	検査の種類	面接
	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	志望できる学科数	2学科
	学力検査	500点（5教科 各100点満点）
	調査書	180点
面接	あり	
その他の選抜資料等	なし	

4 その他

(1) 出願について

- ① 第2志望・・・複数の学科・コース（部）が設置されている学校に出願する場合は、当該校に設置されている学科・コース（部）の間で第2志望を認めている。
 なお、農業、工業、商業、生活産業、商業及び情報のいずれかの分野に属する学科に出願する者に対して、同一分野に属する他の学科を第3志望とすることができる。
- ② 出願先変更・・・出願先の高等学校又は学科若しくはコースを変更しようとする者は、1回に限り変更することができる。

【埼玉県】

1 選抜方法

一般募集	標準検査（学力検査）と調査書を選抜資料の基本とし、各高校が必要に応じて面接、実技検査等を選抜資料に加える選抜
欠員補充	入学者選抜の合格者数が募集人員（定員）に満たない高校・学科等において、その欠員数を補充するために行う選抜

※ 一般募集の募集定員の60～80%を、第1次選抜で入学許可候補者とする。

次に、入学許可候補予定者数を満たすために必要な人数の60～100%を、第2次選抜で入学許可候補者とする。

2 選抜資料

	一般募集	欠員補充
調査書	教科の評定（3年間） 配点 各高校で別に定める 特別活動等の記録等の得点化 配点 各高校で別に定める	各高校で別に定める
学力検査	5教科 配点 各100点（傾斜配点あり） 時間 国・数・英 各50分 理・社 各40分	各高校で別に定める
独自検査	面接、実技検査等、実施する検査を各学校が決定し事前に公表	各高校で別に定める

※ 第1次選抜の選抜方法

①「学力検査の得点の合計」、②「第1次選抜における調査書の得点の合計の換算点」、及び③「第1次選抜におけるその他の資料の得点の換算点」を算出し、①～③の合計点に基づいて選抜する。

※ 第2次選抜の選抜方法

第1次選抜で入学許可候補とならなかった者を、第2次選抜の対象者とする。

④「学力検査の得点の合計」、⑤「第2次選抜における調査書の得点の合計の換算点」、及び⑥「第2次選抜におけるその他の資料の得点の換算点」を算出し、④～⑥の合計点に基づいて選抜する。

※ 第3次選抜の選抜方法

第2次選抜で入学許可候補者とならなかった者を、第3次選抜の対象者とする。

3 具体例

(1) 大宮高等学校 普通科

一般募集	募集人員の割合	100%
	学力検査	500点
	調査書	360点
		学習の記録の得点 180点 特別活動等の記録の得点 90点 その他の項目の得点 90点
	その他の選抜資料等	なし
第1次選抜	入学許可候補者	60%
	各資料の配点	学力検査 500点 調査書 334点 その他 なし
第2次選抜	入学許可候補者	40%
	各資料の配点	学力検査 500点 調査書 214点 その他 なし
欠員補充	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	検査内容等	別に定める

(2) 大宮高等学校 理数科

一般募集	募集人員の割合	100%
	学力検査	700点
		傾斜配点 数学・理科 2倍
	調査書	360点
		学習の記録の得点 180点 特別活動等の記録の得点 90点 その他の項目の得点 90点
その他の選抜資料等	なし	
第1次選抜	入学許可候補者	60%
	各資料の配点	学力検査 700点 調査書 467点 その他 なし
第2次選抜	入学許可候補者	40%
	各資料の配点	学力検査 500点 調査書 300点 その他 なし
欠員補充	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	検査内容等	別に定める

(3) 春日部工業高等学校 機械科・建築科・電気科共通

一般募集	募集人員の割合	100%
	学力検査	500点
	調査書	375点 学習の記録の得点 225点 特別活動等の記録の得点 110点 その他の項目の得点 40点
	その他の選抜資料等	面接 50点
	第1次選抜	入学許可候補者 80% 各資料の配点 学力検査 500点 調査書 450点 面接 50点
第2次選抜	入学許可候補者 20% 各資料の配点 学力検査 500点 調査書 600点 面接 50点	
欠員補充	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	検査内容等	別に定める

※調査書の「その他の項目の得点」・・・総合的な学習の時間の記録
 出欠の記録
 資格取得等

4 その他

(1) 出願について

- ① 第2志望・・・複数の学科・コース（部）が設置されている学校に出願する場合は、当該校に設置されている学科・コース（部）の間で第2志望を認めている。
- ② 出願先変更・・・出願先の高等学校又は学科若しくはコースを変更しようとする者は、1回に限り変更することができる。

【茨城県】

1 選抜方法

一般入学	学力検査と調査書を選抜資料の基本とした共通選抜の他、各高校が必要に応じて面接、作文、実技検査等を選抜資料に加える特色選抜を実施
第2次募集	入学者選抜の合格者数が募集人員（定員）に満たない高校・学科等において、その欠員数を補充するために行う選抜

※ 特色選抜の出願要件は各高校が定め、あらかじめ公表する。

2 選抜資料

	一般入学		第2次募集
	共通選抜	特色選抜	
調査書	教科の評定（3年間） 配点 135点	教科の評定（3年間） （傾斜配点あり） 特別活動 部活動 その他の活動 を点数化	教科の評定（3年間） （傾斜配点あり） 特別活動 部活動 その他の活動 を点数化
学力検査	5教科（各100点）、各50分		3教科（各100点） 各50分
面接・作文	全日制課程なし	面接あり 作文は、学校・学科等 により実施	面接あり
実技検査等	体育・芸術に関する学 科で実施 配点 100, 200, 300点 の中から各学校で定め る	学校・学科等により 実施	体育・芸術に関する学 科で実施 配点 100, 200, 300点 の中から各学校で定め る

※ 共通選抜

一般入学志願者のうち、特色選抜で合格と判定された者を除く受験者が対象。

① 共通選抜対象者を学力検査の得点合計の高い順に並べる。

② 共通選抜対象者を調査書の評定合計の高い順に並べる。

同一人について、①の順位が募集定員から特色選抜の合格者数を引いた数の80%以内、かつ、②の順位が募集定員から特色選抜の合格者数を引いた数以内にある者をA群とし、残りをB群とする。

A群に属する者は、原則として合格。

B群に属する者の選抜は、学力検査の結果を重視した選抜、又は調査書の記録を重視した選抜による。学力検査重視の選抜と調査書重視の選抜で合格する人数の比率は、2：8から8：2の中から学校が定める。

※ 特色選抜

調査書、学力検査の成績、面接の結果及びその他の資料を総合して合格者を決定。

学力検査以外の選抜資料の配点等、選抜の詳細は各学校で定める。ただし、学力検査の配点（500点満点）を含む選抜資料の総合得点の満点は1,200点を超えないものとする。

特色選抜において合格と判定されなかった受験者は、特色選抜に出願しなかった他の受験生と併せて、共通選抜により合否判定を行う。

3 具体例

(1) 水戸第一高等学校 普通科

一般入学	募集人員の割合	100%
	学力検査	500点
	調査書	135点
	その他の選抜資料等	なし
	特色選抜	実施しない
第2次募集	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	学力検査	300点（3教科（国・数・英）各100点満点）
	調査書	135点
	面接	個人面接
	その他の選抜資料等	なし

(2) 筑波高等学校 普通科

一般入学	募集人員の割合	100%
	学力検査	500点
	調査書	135点
	その他の選抜資料等	なし
	特色選抜	実施する 配点合計 1,100点
	募集人員の割合	10%程度 体育・文化・芸術分野 5%程度 奉仕活動・生徒会活動分野 5%程度
	学力検査	500点
	調査書	300点
	面接	200点
	その他の選抜資料	作文 100点
第2次募集	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	学力検査	300点（3教科（国・数・英）各100点満点）
	調査書	135点
	面接	個人面接
	その他の選抜資料等	なし

4 その他

(1) 出願について

- ① 第2志望・・・複数の学科・コース（部）が設置されている学校に出願する場合は、当該校に設置されている学科・コース（部）の間で第2志望を認めている。
- ② 出願先変更・・・出願先の高等学校又は学科若しくはコースを変更しようとする者は、1回に限り変更することができる。

【奈良県】

1 選抜方法

特色選抜	<p>全日制課程の専門学科，総合学科，普通科の一部のコースで実施。</p> <p>特色選抜を実施する場合の募集割合は，募集人員の100%。</p> <p>各高校がどのような生徒を募集しているか，「特色選抜の趣旨」を公表。</p> <p>学力検査に加え，学校独自検査，面接，実技の3種類のうちから1つ以上を選んで実施。</p> <p>各検査と調査書を選抜資料とし，各高校及び学科の特色に応じて選抜資料の配点等を定めて選抜。</p>
一般選抜	<p>定員のすべて又は一部を一般選抜で募集する学科・コース及び特色選抜で合格者数が定員に満たなかった学科・コースで実施。</p> <p>学力検査と調査書を選抜資料とし，各高校が必要に応じて選抜資料の配点等を定めて選抜。</p>
二次募集	<p>特色選抜及び一般選抜等の合格者数が定員に満たない高校・学科等において，その欠員数を補充するために行う選抜</p>

※ 学校によっては「調査書の特別な取扱い」による選抜を実施。

「調査書の特別な取扱い」による合格人数枠の設定あり。

実施する高校は，募集人員の一部について，調査書のその他の記載事項の中で重視する事項を定めて点数化し調査書成績に加算。（傾斜配点とは別）

通常の場合判定による選抜後，まだ合格となっていない受験生を対象として，加算された調査書成績及び検査成績等を資料として，総合的に可否を判定する。

2 選抜資料

	特色選抜	一般選抜	再募集
調査書	<p>教科の評定（3年間）</p> <p>配点135点（傾斜配点あり）</p> <p>体育に関する学科では，「特技に関する記録（体育）」を点数化し加算</p> <p>「調査書の特別な取扱い」あり</p>	<p>教科の評定（3年間）</p> <p>配点135点（傾斜配点あり）</p> <p>「調査書の特別な取扱い」あり</p>	<p>教科の評定（3年間）</p> <p>配点135点</p> <p>（傾斜配点あり）</p>
学力検査	<p>3教科（各40点），</p> <p>5教科から，各高校が3教科を選択して実施</p> <p>傾斜配点あり</p>	<p>5教科（各50点）</p> <p>傾斜配点あり</p>	<p>3教科（各40点）</p> <p>国・数・英</p> <p>傾斜配点あり</p>
学校独自検査	<p>独自問題，口頭試問，実験，自己表現（作文・小論文）等，高校が独自に作成</p>		
面接	<p>個人面接又は集団面接</p> <p>「自己アピール文」を資料として活用するが，「自己アピール文」そのものは点数化しない</p>	<p>高校・学科等により実施することができる</p> <p>（点数化はしない）</p>	<p>個人面接</p> <p>又は集団面接</p>
実技検査	<p>体育及び芸術に関する学科・コースで実施</p>		

※ 特色化選抜の選抜方法

選抜は、以下の資料Ⅰから資料Ⅲに基づいて行う。

- ① 資料Ⅰ・・・調査書成績
 - ア 各教科の学習成績の合計点 135点満点
 - イ 加重配点をした後の学習成績の合計点
 - ウ ア又はイのいずれかに「特技に関する記録（体育）」を点数化した点を加算した後の合計点
- ② 資料Ⅱ・・・検査成績
特色選抜において実施する各検査の合計点
- ③ 資料Ⅲ・・・調査書のその他の記載事項
「学習活動の記録」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「スポーツ・文化活動等の記録」

受験生ごとに資料Ⅰと資料Ⅱとを合計し、合計点の多い者から順に合格とする。

その際、資料Ⅲ等を考慮して総合的に選抜する。

「調査書の特別な取扱い」を実施する場合は、上記の選抜を行った後で、合格とならなかった受験生全員を対象として、資料Ⅲにおいて重視する事項を点数化した点を資料Ⅰに加算し、受験生ごとに資料Ⅰと資料Ⅱとを合計し、合計点の多い者から順に合格とする。

「調査書の特別な取扱い」の合格人数枠はあらかじめ公表する。

※ 一般選抜の選抜方法

選抜は、以下の資料Ⅰから資料Ⅲに基づいて行う。

- ① 資料Ⅰ・・・調査書成績
 - ア 各教科の学習成績の合計点 135点満点
 - イ 加重配点をした後の学習成績の合計点
- ② 資料Ⅱ・・・検査成績
 - ア 学力検査の各教科の合計点 250点満点
 - イ 加重配点をした後の合計点
- ③ 資料Ⅲ・・・調査書のその他の記載事項
「学習活動の記録」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「スポーツ・文化活動等の記録」

受験生ごとに資料Ⅰと資料Ⅱとを合計し、合計点の多い者から順に合格とする。

その際、資料Ⅲ等を考慮して総合的に選抜する。

「調査書の特別な取扱い」を実施する場合は、特色選抜と同様。

※ 二次募集の選抜方法

選抜は、以下の資料Ⅰから資料Ⅲに基づいて行う。

- ① 資料Ⅰ・・・調査書成績
 - ア 各教科の学習成績の合計点 135点満点
 - イ 加重配点をした後の学習成績の合計点
- ② 資料Ⅱ・・・検査成績
 - ア 学力検査の各教科の合計点 120点満点
 - イ アに加重配点をした点と面接の得点の合計点
- ③ 資料Ⅲ・・・調査書のその他の記載事項
「学習活動の記録」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「スポーツ・文化活動等の記録」

受験生ごとに資料Ⅰと資料Ⅱとを合計し、合計点の多い者から順に合格とする。

その際、資料Ⅲ等を考慮して総合的に選抜する。

3 具体例

(1) 奈良朱雀高等学校 機械工学科

特色選抜	募集人員の割合	100%
	学力検査	120点（国・数・英の3教科，各40点満点） 実施時間：各30分
	調査書	135点 ・加重配点なし ・特別な取扱いあり 合格人数枠：7人，資料Ⅲの点数化：20点
	学校独自検査	なし
	面接	60点（個人面接）
	実技検査	なし
一般選抜	募集人員の割合	特色選抜による合格者数が定員に満たなかった場合に実施する
	学力検査	250点（5教科，各50点満点） 実施時間：各40分
	調査書	135点
	面接	なし
二次募集	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	学力検査	120点（国・数・英の3教科，各40点満点） 実施時間：各30分
	調査書	135点
	面接	60点（個人面接）

(2) 清翔高等学校 理数科

特色選抜	募集人員の割合	100%
	学力検査	120点（数・理・英の3教科，各40点満点） 実施時間：各30分
	調査書	135点 ・加重配点なし ・特別な取扱いなし
	学校独自検査	80点（自己表現（作文・小論文））
	面接	なし
	実技検査	なし
一般選抜	募集人員の割合	特色選抜による合格者数が定員に満たなかった場合に実施する
	学力検査	250点（5教科，各50点満点） 実施時間：各40分
	調査書	135点
	面接	なし
二次募集	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	学力検査	120点（国・数・英の3教科，各40点満点） 実施時間：各30分
	調査書	135点
	面接	50点（個人面接）

(3) 桜井高等学校 普通科(書芸コース)

特色選抜	募集人員の割合	100%
	学力検査	120点(国・数・英の3教科, 各40点満点) ・実施時間: 各30分
	調査書	150点 ・加重配点あり: 国語(+15点) ・特別な取扱いあり 合格人数枠: 3人 資料Ⅲの点数化: 10点 (硬筆書写検定又は毛筆書写検定3級以上)
	学校独自検査	なし
	面接	なし
	実技検査	80点 ・毛筆による書写
一般選抜	募集人員の割合	特色選抜による合格者数が定員に満たなかった場合に実施する
	学力検査	250点(5教科, 各50点満点) 実施時間: 各40分
	調査書	135点
	面接	なし
二次募集	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	学力検査	120点(国・数・英の3教科, 各40点満点) 実施時間: 各30分
	調査書	135点
	面接	30点(個人面接)

(4) 奈良高等学校 普通科

特色選抜	募集人員の割合	なし
	学力検査	なし
	調査書	なし
	学校独自検査	なし
	面接	なし
	実技検査	なし
一般選抜	募集人員の割合	100%
	学力検査	250点(5教科, 各50点満点) 実施時間: 各40分
	調査書	135点
	面接	なし
二次募集	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	学力検査	120点(国・数・英の3教科, 各40点満点) 実施時間: 各30分
	調査書	135点
	面接	30点(個人面接)

4 その他

(1) 調査書の特別な取扱いについて

- ・受験者数が募集人員以下の学科・コースについては、調査書の特別な取扱いをしない。
ただし、第2志望により募集人員を超えた場合には原則実施する。

(2) 出願について

- ① 第2志望・・・複数の学科・コース（部）が設置されている学校に出願する場合は、当該学校に設置されている学科・コース（部）の間で、順位を付けて2学科・コースまで第2志望を認めている。
- ② 出願先変更・・・出願後の出願先変更は認めない。

(3) 現行制度について

① 現行制度

- ・平成24年度入試から現行制度（特色選抜（2月実施）、一般選抜（3月実施））を実施
- ・特色選抜の募集割合
 - 実施する学校・学科のほとんどが100%・・・特色選抜で定員を満たす学校多い
 - ほとんどの学校・学科で受験機会は1回
- ・特色選抜への出願
 - 第1志望が専門学科等である受験生が受験
 - 一部、早期に合格を決めたい受験生が受験・・・中学校の指導上、特に問題なし
 - 不合格となった受験生については、一般選抜で出願
 - 特色選抜合格発表日から一般選抜出願開始日まで6日間（平日4日間）
 - ・・・中学校の指導上、特に問題なし
- ・平成24年度以前は、全学校で特色選抜を実施
 - 募集割合は特色選抜が少なく、一般選抜が多い状況
 - 特色選抜の出願者が増加・・・不合格者の増加、採点業務等の入試事務の多忙化

② 平成28年度入試（全日制課程34校89学科・コース）

	特色選抜	一般選抜	二次募集
実施校数	26校64学科・コース	25校25学科・コース	11校11学科・コース
募集人数	3,128人	5,803人	329人
出願者数	3,883人	6,264人	65人
出願倍率	1.24倍	1.08倍	0.20倍
合格者数	2,879人	5,474人	63人
不合格者数	1,004人	790人	1人

※ 募集定員 8,778 人，合格者計 8,416 人，充足率 95.9 %

【和歌山県】

1 選抜方法

スポーツ推薦	中学校長からの推薦に基づき，指定する競技スポーツに優れた実績，能力をもつ生徒を対象に実施 学力検査及びスポーツ実技検査等を実施。
一般選抜	募集定員を定めたすべての学校・学科・コース等で実施。 学力検査と調査書を選抜資料とし，高校によっては，面接，作文または小論文，実技による検査を実施する。
追募集	合格者数が募集定員に満たない高校・学科・コース等において，その欠員数を補充するために行う選抜

※ 一般出願と本出願

一般出願の後，県教育委員会は出願者数を公表し，受験生は後日，本出願を行う。

本出願にあたって，一般出願の際の志願先の学校や学科・コースを1回に限り変更することができる。

志願先を変更した場合を除き，一般出願の際に提出した志願先の学校・学科・コース以外に本出願することができない。

2 選抜資料

	スポーツ推薦	一般選抜	追募集
調査書	教科の評定（3年間）	教科の評定（3年間） 配点180点 1・2学年 90点満点 3学年(2倍) 90点満点 傾斜配点あり	教科の評定（3年間）
学力検査	5教科（各100点）， 傾斜配点あり	5教科（各100点） 傾斜配点あり	総合問題(100点満点)
作文又は 小論文		学校・学科等により 実施することができる （検査結果を点数化）	学校・学科等により 実施することができる
面接	学校・学科等により 実施することができる （点数化はしない）	学校・学科等により 実施することができる （点数化はしない）	個人面接 又は集団面接
実技検査	スポーツ実技検査の実施 学校により競技スポーツを 指定	学校・学科等により 実施することができる （検査結果を点数化）	学校・学科等により 実施することができる

※ スポーツ選抜の選抜方法

出願条件あり

選抜は、学力検査，スポーツ実技検査等の結果及びスポーツ推薦書，調査書等を総合して，厳正，公平かつ適正に選抜する。

合格しなかった者は，一般選抜において合否を判定する。

※ 一般選抜の選抜方法

選抜は，以下のア～エの各段階順に判定していく。

ア 第1段階

全受験者のうち，次の（ア），（イ）及び面接，実技試験等を実施した場合は（ウ）のいずれかにおいて，それぞれの条件を満たす者が合格予定者とする。

ただし，第1段階での合格予定者数は募集枠の80%を上限とする。

（ア）「調査書」の記載内容が優れた者で「学力検査の成績」が募集枠内にある者のうち，「選抜選考基準」に示した割合内にある者。ただし，面接・実技検査等を実施した場合は，その成績が著しく下位の者を除く。

（イ）「学力検査の成績」が優れた者で「評定」が募集枠内にある者のうち，「選抜選考基準」に示した割合内にある者。ただし，面接・実技検査等を実施した場合は，その成績が著しく下位の者を除く。

（ウ）「面接・実技検査等の成績」が優れた者で「評定」及び「学力検査の成績」が募集枠内にある者のうち，「選抜選考基準」に示した割合内にある者。

イ 第2段階

第1段階における合格予定者数が，募集枠の80%に満たない場合は，第1段階の（ア）～（ウ）を同じ割合が保たれるよう調整する。

ウ 第3段階

第1段階及び第2段階の合格予定者を除いたすべての受験者に，スポーツ推薦で合格しなかった者及び第2志望の者を加え，「調査書」及び「学食検査の成績」並びにその他の資料や面接・実技検査等を実施したときの成績も含め，学科の特色を考慮しながら総合的に判定する。

エ 第4段階

第3段階において，募集枠までを合格予定者としたうえ，更に，全受験者について総合的な観点から検討し，最終的に合格者を決定する。

※ 追募集の選抜方法

選抜は，学力検査，面接等の結果及び調査書等を総合して，厳正，公平かつ適正に選抜する。

3 具体例

(1) 箕島高等学校 普通科 (スポーツ)

スポーツ推薦	募集人員の割合	バレーボール：女子3 ソフトボール：男子5 相撲：男子5 柔道：男女5 剣道：男女3 ホッケー：男子5 空手道：男女5 フェンシング：男女3
	学力検査	500点 (5教科, 各100点満点) 実施時間：各50分
	調査書	180点 ・傾斜配点なし
	作文・小論文	なし
	面接	なし
	実技検査	種目により異なる。 50m走, 反復横跳び, 握力測定, 種目別実技等
一般選抜	募集人員の割合	募集定員からスポーツ推薦枠を差し引いた人数
	学力検査	500点 (5教科, 各100点満点) 実施時間：各50分
	調査書	180点 ・傾斜配点なし
	面接	なし
	実技検査	11競技から1競技選択 共通実技 (50m走, 反復横跳び) 専門実技 (種目ごと)
	選抜選考基準	調査書：学力検査：実技等 = 30%：30%：40%
追募集	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	学力検査	100点満点 (総合問題) 実施時間：60分
	調査書	180点
	面接	個人面接
	実技検査	11競技から1競技選択 共通実技 (50m走, 反復横跳び) 専門実技 (種目ごと)

(2) 箕島高等学校 普通科(普通)

スポーツ推薦	募集人員の割合	なし
	学力検査	なし
	調査書	なし
	作文・小論文	なし
	面接	なし
	実技検査	なし
一般選抜	募集人員の割合	100%
	学力検査	500点(5教科, 各100点満点) 実施時間: 各50分
	調査書	180点 ・傾斜配点なし
	面接	なし
	選抜選考基準	調査書: 学力検査 = 40% : 60%
二次募集	募集人員の割合	定員に満たない場合に実施
	学力検査	100点満点(総合問題) 実施時間: 60分
	調査書	180点
	面接	個人面接

4 その他

(1) 検査期日について

- ・1日目・・・学力検査, 2日目・・・スポーツ実技検査等

(2) 出願について

- ① 第2志望・・・複数の学科・コース(部)が設置されている学校に出願する場合は, 同一校, 同一課程に限り, 第1志望として出願した学科・コース以外の学科・コースを第2志望として出願できる。
- ② 出願先変更・・・本出願に際し, 一般出願の際に提出した志願先の学校や学科・コースを, 1回に限り変更することができる。
なお, 一般出願をしていない者は, 本出願をすることができない。
また, スポーツ推薦については, 出願先の変更はできない。

(3) 平成28年度入試(全日制課程31校71学科・コース)

	スポーツ推薦	一般選抜	二次募集	
募集人数	7,180人		399人	
出願者数	122人	7,072人	156人	
出願倍率	1.00倍(7,194/7,180)		0.39倍	
合格者数	122人	6,660人	150人	その他の合格者22人
不合格者数	(欠席)1人	412人	6人	

※ 募集定員 7,180人, 合格者計 6,954人, 充足率 96.9%

④ 入試制度別の平成28年度入試日程比較 (抜粋)

前期・後期型				推薦・一般型				一本型					
宮城県		秋田県		奈良県		岩手県		山形県		和歌山県		青森県	
1月1日	金					1月1日	金					1月1日	金
1月2日	土					1月2日	土					1月2日	土
1月3日	日					1月3日	日					1月3日	日
1月4日	月					1月4日	月					1月4日	月
1月5日	火					1月5日	火					1月5日	火
1月6日	水					1月6日	水					1月6日	水
1月7日	木					1月7日	木					1月7日	木
1月8日	金					1月8日	金					1月8日	金
1月9日	土					1月9日	土					1月9日	土
1月10日	日					1月10日	日					1月10日	日
1月11日	月					1月11日	月					1月11日	月
1月12日	火	願書受付△				1月12日	火					1月12日	火
1月13日	水	願書受付△	願書受付△			1月13日	水					1月13日	水
1月14日	木	願書受付△	願書受付△			1月14日	木					1月14日	木
1月15日	金	願書受付△	願書受付△			1月15日	金					1月15日	金
1月16日	土					1月16日	土					1月16日	土
1月17日	日					1月17日	日					1月17日	日
1月18日	月	出願書類審査				1月18日	月					1月18日	月
1月19日	火	出願書類審査				1月19日	火	願書受付△				1月19日	火
1月20日	水	出願書類審査				1月20日	水	願書受付△				1月20日	水
1月21日	木	受験票等送付				1月21日	木	願書受付△				1月21日	木
1月22日	金		一次選抜結果通知			1月22日	金	願書受付△	願書受付△			1月22日	金
1月23日	土					1月23日	土					1月23日	土
1月24日	日					1月24日	日					1月24日	日
1月25日	月					1月25日	月		願書受付△			1月25日	月
1月26日	火					1月26日	火		願書受付△			1月26日	火
1月27日	水					1月27日	水		願書受付△			1月27日	水
1月28日	木					1月28日	木		願書受付△			1月28日	木
1月29日	金		前期選抜●			1月29日	金	推薦一次選考結果				1月29日	金
1月30日	土					1月30日	土					1月30日	土
1月31日	日					1月31日	日					1月31日	日
2月1日	月					2月1日	月					2月1日	月
2月2日	火					2月2日	火	推薦入試●				2月2日	火
2月3日	水	前期選抜●				2月3日	水					2月3日	水
2月4日	木					2月4日	木					2月4日	木
2月5日	金		合格発表◆			2月5日	金		推薦入試●			2月5日	金
2月6日	土					2月6日	土					2月6日	土
2月7日	日					2月7日	日					2月7日	日
2月8日	月					2月8日	月					2月8日	月
2月9日	火					2月9日	火	合格発表◆				2月9日	火
2月10日	水					2月10日	水	願書受付△				2月10日	水
2月11日	木					2月11日	木					2月11日	木
2月12日	金	合格発表◆				2月12日	金	願書受付△				2月12日	金
2月13日	土					2月13日	土					2月13日	土
2月14日	日					2月14日	日					2月14日	日
2月15日	月		願書受付△	願書受付		2月15日	月	願書受付△	合格発表◆			2月15日	月
2月16日	火		願書受付△	願書受付		2月16日	火	願書受付△				2月16日	火
2月17日	水		願書受付△			2月17日	水	願書受付△				2月17日	水
2月18日	木		出願変更▲			2月18日	木					2月18日	木
2月19日	金		出願変更▲			2月19日	金	出願変更▲	願書受付△			2月19日	金
2月20日	土					2月20日	土					2月20日	土
2月21日	日					2月21日	日					2月21日	日
2月22日	月		出願変更▲	特色選抜●		2月22日	月	出願変更▲	願書受付△	一般出願受付△		2月22日	月
2月23日	火	願書受付△	調査書提出	特色選抜●		2月23日	火	出願変更▲	願書受付△	一般出願受付△		2月23日	火
2月24日	水	願書受付△	調査書提出			2月24日	水	出願変更▲	願書受付△			2月24日	水
2月25日	木	願書受付△				2月25日	木	出願変更▲	願書受付△			2月25日	木
2月26日	金	願書受付△		合格発表◆		2月26日	金					2月26日	金
2月27日	土					2月27日	土					2月27日	土
2月28日	日					2月28日	日					2月28日	日
2月29日	月					2月29日	月					2月29日	月
3月1日	火					3月1日	火					3月1日	火
3月2日	水					3月2日	水			本出願受付▲		3月2日	水
3月3日	木					3月3日	木			本出願受付▲		3月3日	木
3月4日	金			願書受付△		3月4日	金	受験票等送付				3月4日	金
3月5日	土					3月5日	土					3月5日	土
3月6日	日					3月6日	日					3月6日	日
3月7日	月					3月7日	月					3月7日	月
3月8日	火		一般選抜●	願書受付△		3月8日	火					3月8日	火
3月9日	水	後期選抜●				3月9日	水	一般選抜●				3月9日	水
3月10日	木					3月10日	木		一般選抜●	一般・スポーツ推薦●		3月10日	木
3月11日	金					3月11日	金		一般選抜●	一般・スポーツ推薦●		3月11日	金
3月12日	土					3月12日	土					3月12日	土
3月13日	日					3月13日	日					3月13日	日
3月14日	月			一般選抜●		3月14日	月					3月14日	月
3月15日	火					3月15日	火					3月15日	火
3月16日	水	合格発表◆	合格発表◆			3月16日	水	合格発表◆				3月16日	水
3月17日	木	願書受付△		合格発表◆		3月17日	木	願書受付△				3月17日	木
3月18日	金	願書受付△	願書受付△			3月18日	金	願書受付△		合格発表◆		3月18日	金
3月19日	土		願書受付△			3月19日	土					3月19日	土
3月20日	日					3月20日	日					3月20日	日
3月21日	月					3月21日	月	願書受付△				3月21日	月
3月22日	火			願書受付△		3月22日	火	願書受付△				3月22日	火
3月23日	水	第二次募集●	第二次募集●			3月23日	水					3月23日	水
3月24日	木	合格発表◆		二次募集●		3月24日	木	第二次募集●		願書受付△		3月24日	木
3月25日	金		合格発表◆	合格発表◆		3月25日	金					3月25日	金
3月26日	土					3月26日	土					3月26日	土
3月27日	日					3月27日	日					3月27日	日
3月28日	月					3月28日	月	合格発表◆		追募集●		3月28日	月
3月29日	火					3月29日	火					3月29日	火
3月30日	水					3月30日	水			合格発表◆		3月30日	水
3月31日	木					3月31日	木					3月31日	木

宮城県公立高校入学者選抜に係る質問紙調査の結果(速報)

平成28年7月
高校教育課

1 調査の概要

(1) 調査目的

「平成25年度入学者選抜」からスタートした新しい入試制度について、3カ年の実施状況を踏まえた評価を行うことで、旧制度からの変更点の効果を検証するとともに、その課題と改善の方向性についての意見を集約し、入学者選抜に係る今後の検討の参考とする。

(2) 調査対象学校数

・公立の高等学校	83校 (回収数 83校)
	※ 全日制70校(川崎校含む) ・定時制13校
・国立・公立・私立の中学校	210校 (回収数 210校)
・公立の特別支援学校中学部	18校 (回収数 18校)
・中等教育学校	2校 (回収数 1校)

(3) 実施期間

・平成27年12月下旬から平成28年1月22日(金)まで

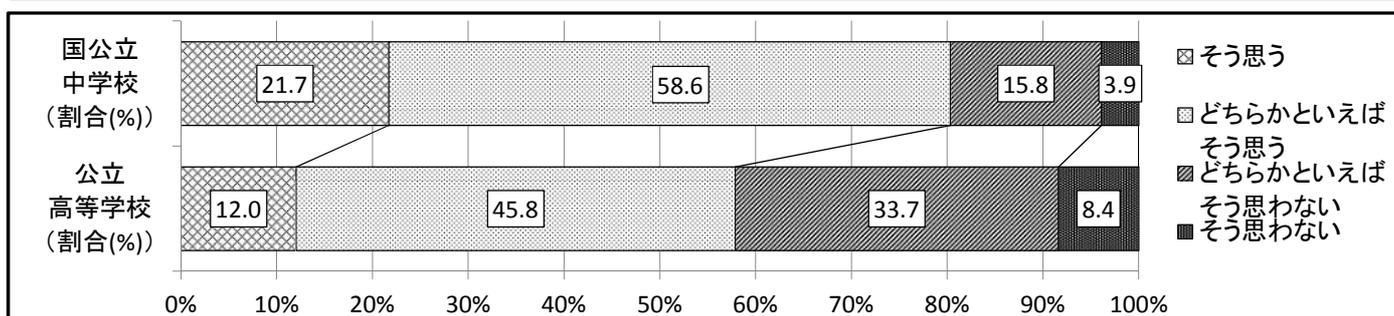
(4) 調査項目

- ① 検証：旧制度からの変更点の効果 【Q1~Q8】
- ② 評価：新しい入試制度の課題と改善の方向性 【Q9~22】

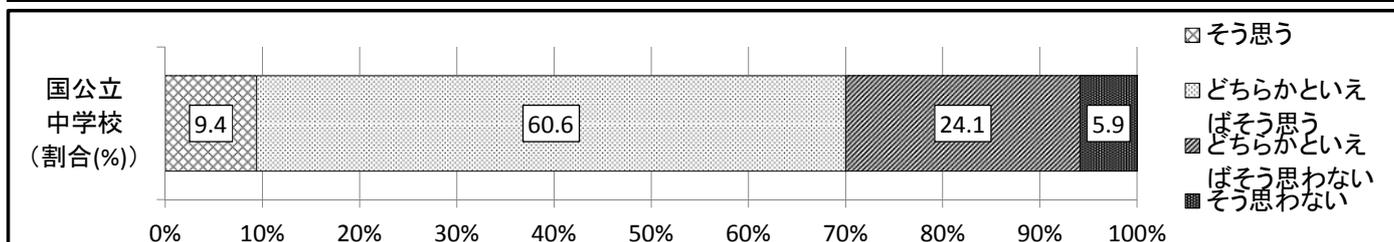
2 調査の結果から

(1) 検証：旧制度からの変更点の効果等

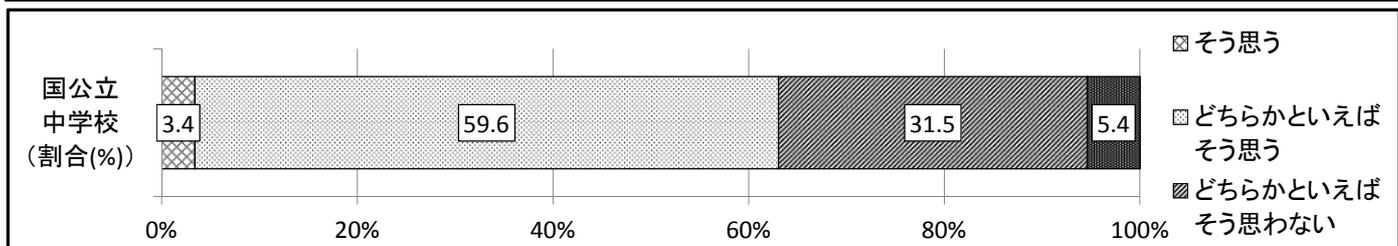
共 Q1 新しい入試制度は、「受験機会の拡大・受験者数の増加」につながっている。



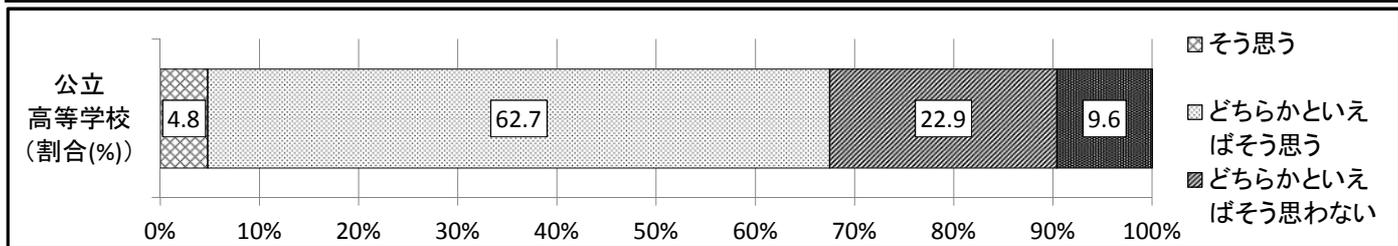
中 Q2 新しい入試制度は、「目的意識の明確化・主体的な進路選択」に役立っている。



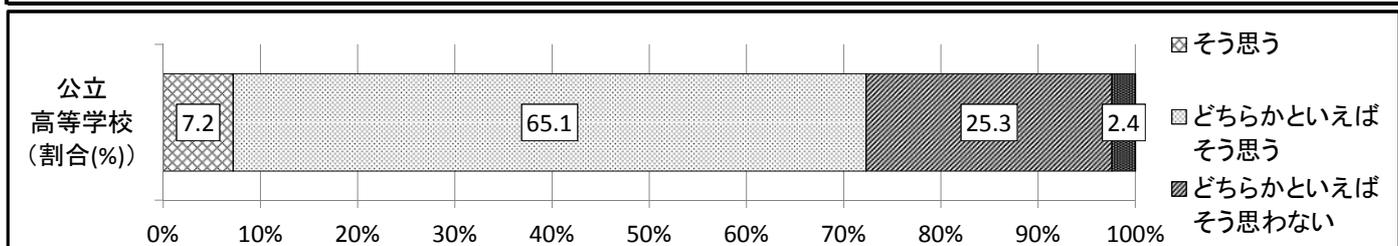
中 Q3 新しい入試制度は、「学習意欲の喚起・学習習慣の形成」に役立っている。



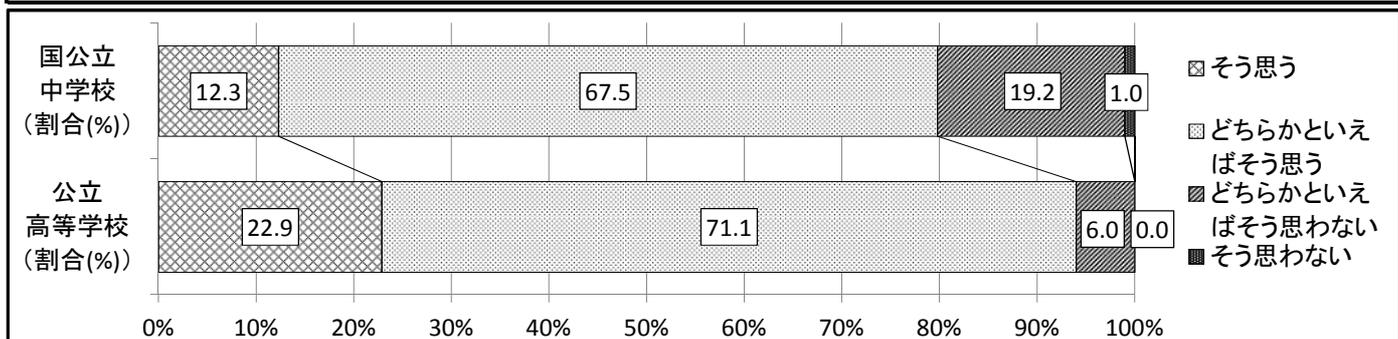
高 Q4 新しい入試制度は、各高校が進める「特色ある学校づくり」に役立っている。



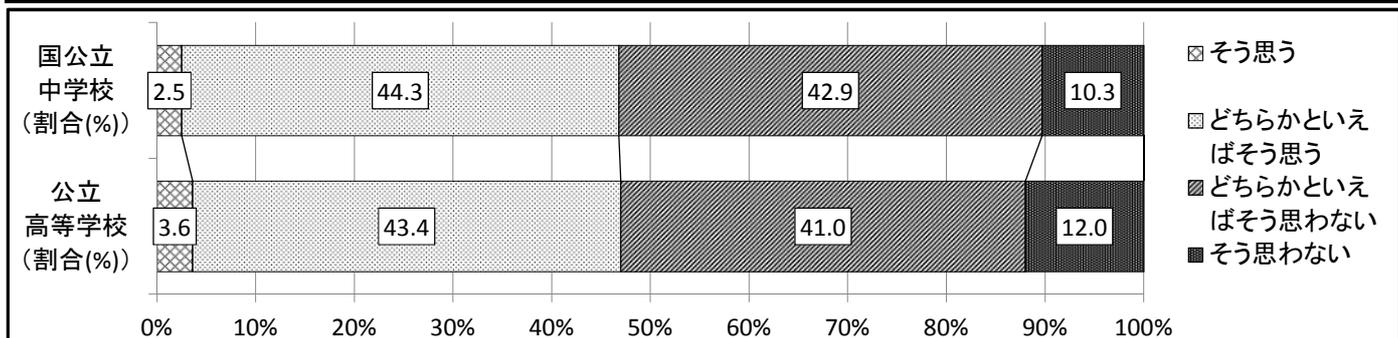
高 Q5 新しい入試制度は、「期待する生徒像に沿った資質・能力の評価」に役立っている。



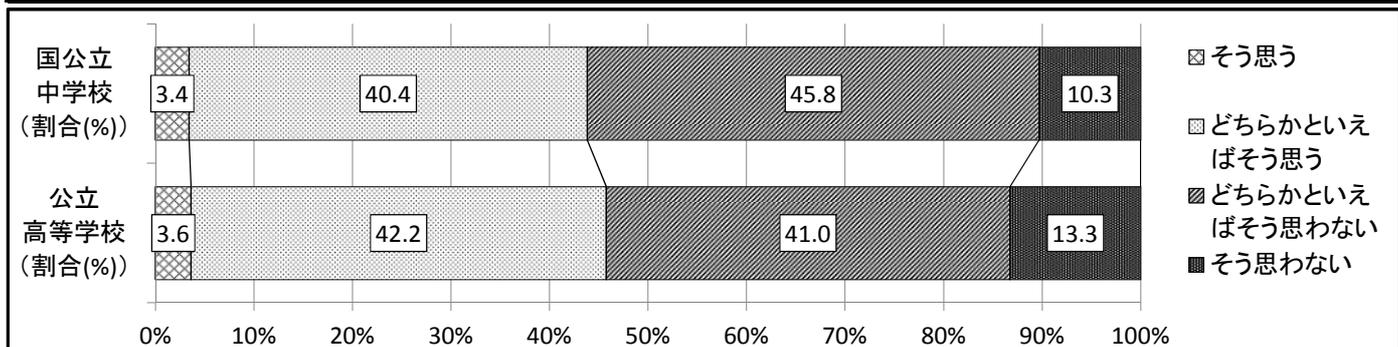
共 Q6 新しい入試制度は、入学者選抜の「透明性・客観性の確保」に役立っている。



共 Q7 新しい入試制度は、「生徒にとって、学校生活の充実」に役立っている。

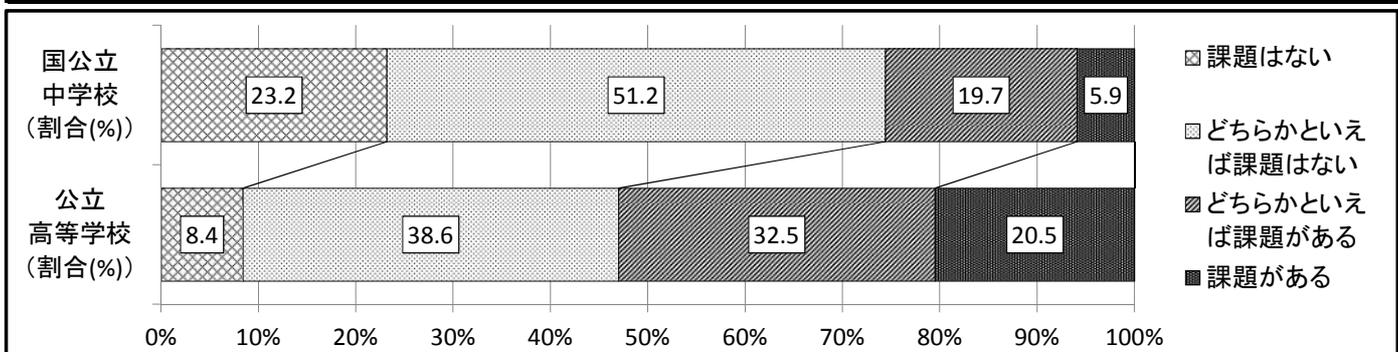


共 Q8 新しい入試制度は、「学校の教育活動の充実」に役立っている。

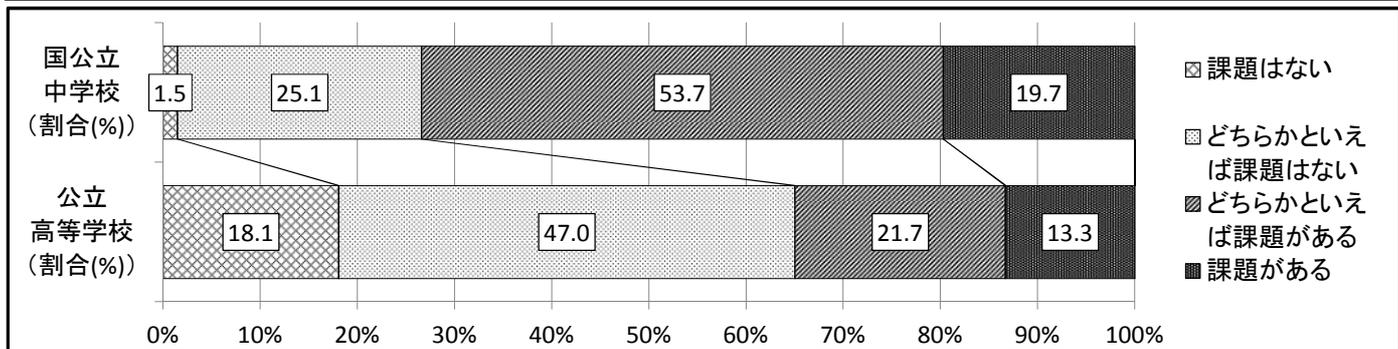


(2) 評価：新しい入試制度の課題と改善の方向性等

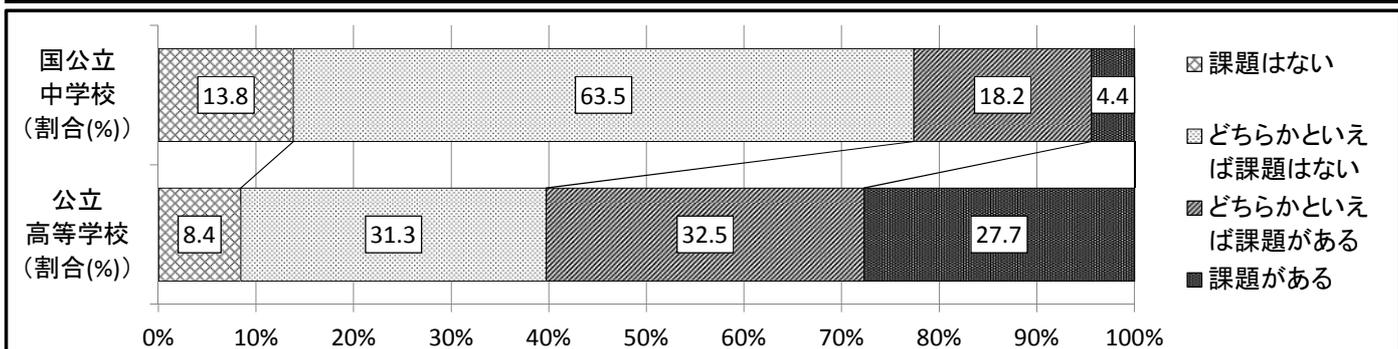
共 Q12 日程(入試全体の期間・時期)について



共 Q18 出願できる条件(前期選抜)について



共 Q22 入試事務を除く他の教育活動への影響について



○ 検証：旧制度からの変更点の効果等

- Q1～Q6では、中学校・高等学校の6割以上が概ね肯定的な回答をしており、特に、中学校・高等学校の8割以上が、透明性・客観性の確保に役立っていると回答している。
- 中学校においては、学習意欲の喚起・学習習慣の形成や目的意識の明確化・主体的な進路選択に役立っていると回答している中学校が多く、前期選抜・後期選抜とも学力検査を実施することで、学習意欲を喚起し、中学校段階における確かな学力の定着を図るという趣旨に関して一定の効果がうかがえる。
- 高等学校においては、期待する生徒像に沿った資質・能力の評価、特色ある学校づくりの一層の推進に役立っていると回答している学校が多く、現行制度が高等学校での魅力ある学校経営を進めていく契機となっていることがうかがえる。
- 一方で、Q7及びQ8で見られるように、入試制度そのものが、生徒の学校生活の充実や学校の教育活動の充実に役立っているという捉え方については、中学校・高等学校ともに意見が分かれていること、Q1で見られるように、受験機会の拡大・受験者数の増加について、中学校ほどには高等学校が評価していないことから、制度変更の趣旨に照らして期待される効果が十分に表れていない状況であることがうかがえる。

○ 評価：現在の入試制度の課題等

- Q12の入試日程については、7割以上の中学校で課題がないと回答しているが、高等学校では半数以上の学校で課題があると回答している。課題があるとした場合の記述回答では、その理由に入試期間の長期化を挙げており、中学校での十分な進路指導と複数の受験機会の確保の結果として、一定程度期間を設けざるを得ない現行制度の在り方については、Q1の回答も踏まえつつ、検討する必要がある。
- 前期選抜での「出願できる条件」は、Q2「目的意識の明確化や主体的な進路選択」、Q3「学習意欲の喚起・学習習慣の形成」、Q6「透明性・客観性の確保」に見られる評価の根拠になっていると考えられるが、中学校において、Q18で課題があるとした場合の記述回答では、その理由に「条件があいまいである」ことを挙げ、条件中の基準の具体化、明確化を求めている。このことと、6割強の高等学校が出願できる条件について、概ね課題がないと回答していることを突き合わせながら、特色ある高校入試の在り方について検討する必要がある。
- Q22の中学校の回答傾向をQ7、8に照らしてみると、中学校においては、入試事務が大きな負担となっていることがうかがえる。また、6割の高等学校において、入試事務を除く他の教育活動に影響があると考えていることも併せると、現行制度における入試事務の在り方や入試期間について検討する必要がある。

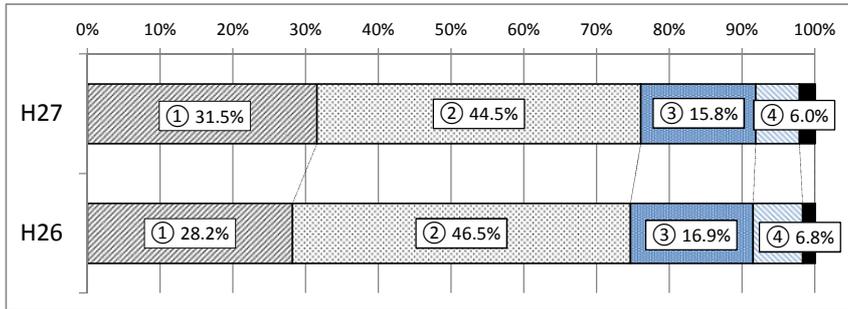
みやぎ学力状況調査(平成27年度) ＜ 高校入試について ＞

選択肢の内容(各設問共通)

①当てはまる	②どちらかといえば、当てはまる	③どちらかといえば、当てはまらない	④当てはまらない	無回答
--------	-----------------	-------------------	----------	-----

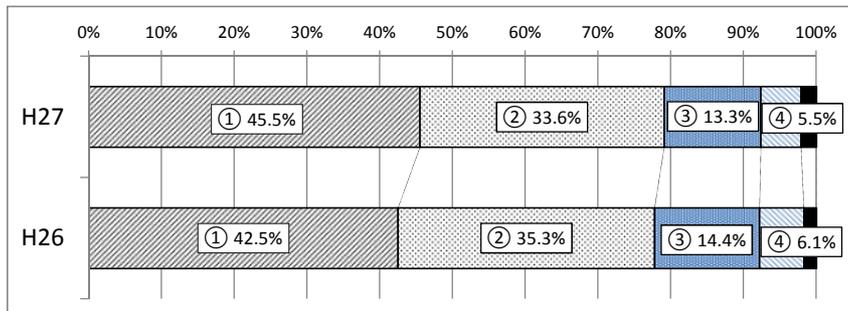
※ 無回答割合の表示は割愛している

(1) 高校入試(学力検査)は、学習意欲の喚起や学習習慣の形成に役立っている(学力向上について)【Q44】
【1年生】



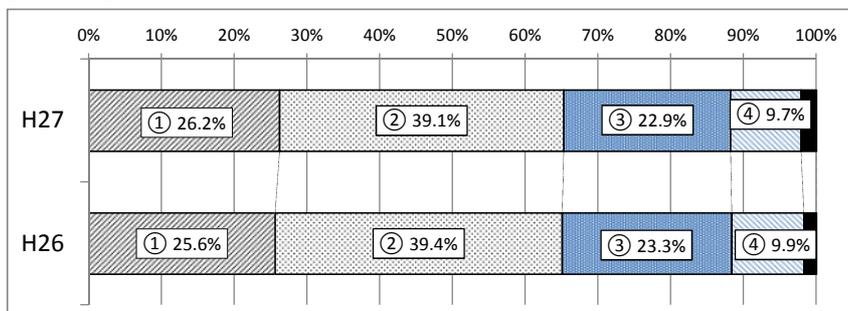
- 学力検査の実施が学習意欲の喚起や学習習慣の形成に役立っていると回答している割合は前年度より増加し、7割超。

(2) 高校入試は、将来について考える機会になった(主体的な進路選択について)【Q45】
【1年生】



- 高校入試は、将来について考える機会になったと回答している割合は前年度より増加し、およそ8割。

(3) 高校入試は、中学校生活や高校生活の充実につながっている(学校生活の充実について)【Q46】
【1年生】



- 前年度並みの6割超の生徒が、高校入試は、中学校生活や高校生活の充実につながっていると回答。

新入試制度のねらい

我が県の入試制度は、入試を通じ、中学生が、高校生活や、その先の自らの将来について展望する契機とすることで、受験生の主体的な進路選択と目的意識の明確化を促し、ひいては、一人一人の学校生活の一層の充実につなげることをねらいとしている。

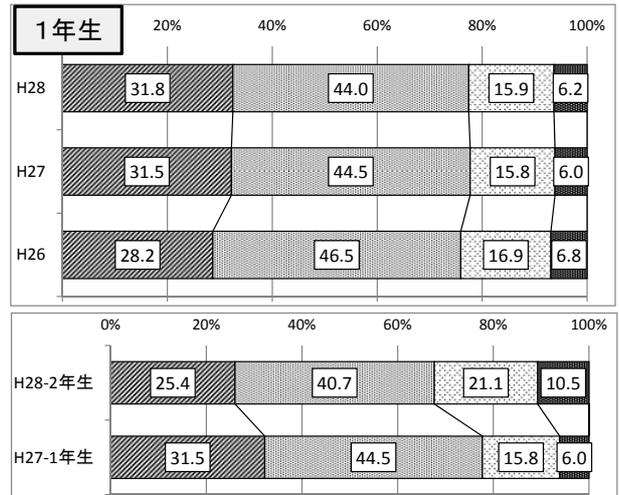
◎ 調査結果からは、各高校の進める特色づくりや、これを踏まえた出願基準の設定、学力検査の導入等の制度変更により、中学生の主体的な進路選択と目的意識の明確化、学習意欲の喚起等、新入試制度のねらいに沿った効果が表れている。

みやぎ学力状況調査（平成28年度）＜ 高校入試について ＞

Q 4 4 高校入試（学力検査）は，学習意欲の喚起や学習習慣の形成に役立っている

1年生	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
H28	31.8	44.0	15.9	6.2
H27	31.5	44.5	15.8	6.0
H26	28.2	46.5	16.9	6.8

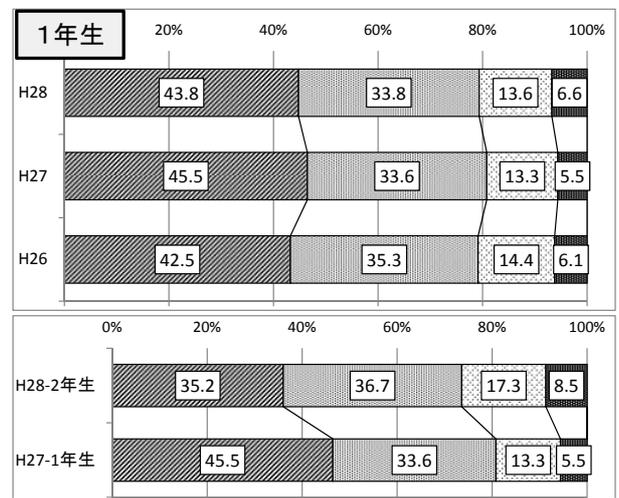
2年生	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
H28	25.4	40.7	21.1	10.5
H27	24.4	42.8	20.9	9.7
H26	20.4	43.1	23.3	11.6



Q 4 5 高校入試は，将来について考える機会になった

1年生	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
H28	43.8	33.8	13.6	6.6
H27	45.5	33.6	13.3	5.5
H26	42.5	35.3	14.4	6.1

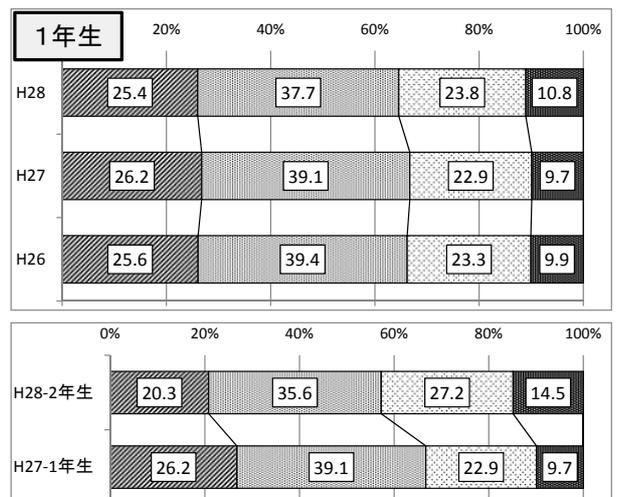
2年生	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
H28	35.2	36.7	17.3	8.5
H27	34.4	37.0	17.9	8.6
H26	29.7	38.1	20.3	10.3



Q 4 6 高校入試は，中学校生活や高校生活の充実につながっている

1年生	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
H28	25.4	37.7	23.8	10.8
H27	26.2	39.1	22.9	9.7
H26	25.6	39.4	23.3	9.9

2年生	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
H28	20.3	35.6	27.2	14.5
H27	20.0	37.7	26.6	13.5
H26	17.7	38.2	28.1	14.4



- ・ 1，2年生ともに7割を超える生徒が，学力検査の実施が学習意欲の喚起や学習習慣の形成に役立っていると回答。
- ・ 1，2年生ともに8割弱の生徒が，高校入試は，将来について考える機会になったと回答。
- ・ 1年生で6割超，2年生で半数以上の生徒が，高校入試は，中学校生活や高校生活の充実につながっていると回答。